

《第42回》 御幸西子ども会(4) 「お別れ会」 育成会会長 山口 悠花

6年生の小学校での活動が後数日で終える今、子ども会での活動も最後となりました。

最上級生としてイベントのお手伝いや下級生のお世話などしてくれました。

その中でも個人的に印象に残る事として、6年女子はしっかりと役割を決めたら遂行し、低学年が困っている姿を見かけると報告をしてくれていました。

6年男子は1年生男子とずっと遊び、遊ぶ事により飛び出し防止のお手伝いをしてくれていました。

そんな6年生を見送る「お別れ会」を令和4年3月13日(日)に行いました。

しかし、熊本市内はコロナまん延防止等重点措置中でゲームやレクリエーションに制限があります。屋外とは言え子供達が集まれば密集してしまいます。

役員でどうにか気持ちを伝えて送り出したいと思いパネルで気持ちを伝える事にしました。また、蜜にならないように1人用レジャーシートを人数分広げそこに座ってもらいました。飛沫対策、密集対策万全です。

パネルは画用紙に1文字ずつ書き、裏返すと別の文字が出るようになっています。せーの！で掲げると1つの文章になります。次のせーの！で裏返すと違う文章になる仕掛けです。

予行練習も出来ない中ぶっつけ本番一発勝負でしたが、皆とても上手に文章を作り出してくれました。6年生は皆しっかりとその文章を読んでくれていました。

お礼の言葉を言ったあと最後に在校生から卒業生へ、卒業生から在校生へのプレゼント交換をして解散しました。

卒業生もですが、私達役員も最後の行事。コロナ禍でどう楽しく無理なく出来るかギリギリまで考えました。

思い出に残るものになっていたら幸いです。



レジャーシートで指定席 = ディスタンス



お礼の言葉
プレゼント交換



《事務局から》

事務局長 白石和典

- ① コロナ禍の中、活動報告を寄せていただき有り難うございました。今まで、子ども会活動で6年生が大変よく活動してくれたので、まん延防止等重点措置中だけど「お別れ会」をして、感謝の気持ちを伝えたいということで開催されました。開催について役員の皆様は大変苦慮されたと思いますが、開催するにあたり感染リスクを極力減らす素晴らしい工夫がなされています。
- ② レジャーシートでディスタンスをとり、一枚一枚のカードを並べて文章としてお祝いメッセージを伝えるという新しいアイデアが生み出されました。コロナ禍でなければ出てこないアイデアかも知れません。子どもたちは感染予防の様々な体験と共に、子ども会活動も今までとは違う体験をしたと思います。後々これらは思い出話として蘇る事でしょう。
- ③ 会長様はじめ役員の皆様今まで大変お疲れ様でした。必要に応じて大人による適切な支援をしつつ、子どもの主体的活動に心がけられました。これからも、ますますの発展と子どもたちの活躍をお祈りします。